

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	やまさき みつよ 山崎 美津代	所属・職名	健康福祉学部 健康栄養学科・准教授
専門領域	栄養学、	学位称号	学士(家政学) .1985(昭60) 博士(医学) .2002(平14)
最終学歴	2002(平14) 長崎大学大学院医学研究科(博士課程) 修了		
資格・免許等	栄養士(福岡県 栄養士名簿番号 17670号) 衛生検査技師(衛生検査技師名簿登録番号 第42307号) 管理栄養士(管理栄養士 栄養士簿登録番号 第26366号)		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	給食経営管理論、給食計画論、給食経営管理実習Ⅰ、給食経営管理実習Ⅱ		
教育方法の実践例	教育方法の実施例 1.給食経営管理Ⅰ(栄養士における協調性、責任感の必要性、調理知識の不足を確認すると共に調理技術、学習意欲の向上へ繋げる) 西九州大学健康福祉学部健康栄養学科の准教授として担当の「給食経営管理実習Ⅰ」(専門科目、2年次、半期、必修1単位)にて実施している。授業日程計画を提示し、学生自身により、喫食者を把握した献立計画、食材管理、作業計画を立てる。その際、喫食者に喜ばれる給食への工夫を怠らないように指導する。各自が作業を分担し、責任を持って計画的に作業を進め、互いが協力して調理日の調理工程を成し遂げ、喫食者の評価を素直に受け止める。実習後は献立作成から食材管理、作業計画、調理作業についての反省を行い、過ちや失敗を繰り返さないように改善点を確認し、協調性の大切さを学び、知識不足な事柄については自らが取り組む姿勢の大切さを養い、給食業務の魅力と責任を伝える。とくに管理者としての認識を高める。(授業外の学習が必要不可欠であり、個別指導を随時行う) 衛生管理の重要性や軽視した場合の問題などの理解のため、ビデオを用いて、ひとり一人の調理行為・行動の大切さ、記録の必要性の認識を深めるようにしている。 また、実際の給食現場でどのように帳票類が関連し、業務と連動しているのかの理解のため、給食現場で使用されている給食ソフトに準じた給食ソフトを用いて、個人対応の栄養管理のあり方および時間を有効活用し、業況把握を行う方法など、実際の給食現場での動きや状況等を伝えながら、管理栄養士の給食に関わる必要性を伝えている。		
教材の開発	非常時の対応として、非常食の考え方や実際に用いられている非常食の作り方、試食を交えて、非常時に対する管理栄養士のあり方について説いている。		
教育改善活動等	2.給食計画論 西九州大学健康福祉学部健康栄養学科の准教授として担当の「給食計画論」(専門科目、2年次、半期、必修2単位)にて実施している。給食の運営に関わる全体像や専門用語が多く、給食の流れや健康増進法の位置づけなど把握しにくい部分が多い、板書による時間のロスを省くため、また視覚に訴えて、伝えられるように Power Point を用いて授業を展開している。講義場所は情報処理室を利用し、各自が目の前のモニターで確認できるようにソフトを活用している。授業で映すスライドは授業の開始前に資料として各自に配布し、必要な事柄はプリントに記入できるようにしている。項目ごとに不定期に小テストを実施し、学生の理解度の低い箇所を把握し、追加説明をしている。 3.給食経営管理論 西九州大学健康福祉学部健康栄養学科の准教授として担当の「給食経営管理論」(専門科目、3年次、半期、必修2単位)にて実施している。 給食計画論で学んできた事柄の理解が必要になるため、栄養管理や衛生管理、健康増進法における給食の位置づけの部分については、復習をかねて説明後、小テストにて各自の理解度を深めさせる。計算問題等の場合は、特にスライド上にて、クラス全体が確認し、計算問題を解くように進ませている。給食経営管理論も給食計画論同様に、視覚にて伝えられるように Power Point を用いて授業を展開している。講義場所は情報処理室を利用		

し、各自が目の前のモニターで確認できるようにソフトを活用している。授業で映すスライドは授業の開始前に資料として各自に配布し、必要な事柄はプリントに記入できるようにしている。項目ごとに不定期に小テストを実施し、学生の理解度の低い箇所を把握し、追加説明をしている。

教材の開発

1. 実習用補助教材（給食ソフト）

西九州大学健康福祉学部健康栄養学科の准教授として担当の「給食経営管理実習Ⅰ」（専門科目、2年次、半期、必修1単位）において、使用している。給食業務の栄養管理業務から献立作成・発注業務ならびに日計表を授業に対応できる給食ソフトを提案し、既存ソフトを改良し、ソフトを活用し理解に繋げている。入力項目の帳票類への関連、時間の省力化のために必要とされる管理栄養士に求められる知識の認識を深めるようにしている。また、基本的なパソコン操作の必要性を認識し、給食ソフトの基本的な利便性についても学習できる。

職務上の実績に関する事項

研究業績等に関する事項

《平成19年度～平成23年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
(学術論文)			
1.Hardness(difficulty of chewing)of the habitual diet in relation to body mass index and waist circumference in free-living Japanese women aged 18-22y	共著	American Journal for Clinical Nutrition	2007
2.Nutrient and food intake in relation to serum leptin concentration among young Japanese women	共著	Nutrition	2007
3. Misreporting of dietary energy, protein, potassium and sodium in relation to body mass index in young Japanese women.	共著	European Journal of Clinical Nutrition	2008
4. Sensitivity and specificity of published strategies using urinary creatinine to identify incomplete 24-h urine collection.	共著	Nutrition	2008
5. Total n-3 polyunsaturated fatty acid intake is inversely associated with serum C-reactive protein in young Japanese women.	共著	Nutrition Research	2008
6..Dietary glycemic index is associated with decreased premenstrual symptoms in young Japanese women.	共著	Nutrition	2008
7. Lower estimates of δ -5 desaturase and elongase activity are related to adverse profiles for several metabolic risk factors in young Japanese women.	共著	Nutrition Research	2008
8. Association between hardness (difficulty of chewing) of the habitual diet and premenstrual symptoms in young Japanese women. Environmental Health Insights	共著	Environmental Health Insights	2009
9. Neighborhood socioeconomic status and premenstrual symptoms: a cross-sectional study of young Japanese women.	共著	Clinical Medicine: Women's Health.	2010

<p>(学会発表)</p> <p>1.食べ物の硬さと body mass index および腹囲との関連： 若年日本人女性 454 人の横断研究</p> <p>2 自由生活を送る日飛び地における水分摂取量と BMI および腹囲との関連：18～22 歳の女子学生 1136 人の横 断研究</p> <p>3.女子大生におけるビタミン E 栄養の評価</p> <p>4 近隣の社会経済状態と 24 時間尿中ナトリウムおよび カリウム排泄量：18～22 歳の女子学生 1032 人の横断研 究</p> <p>5. 高齢者に好まれる料理（食材の大きさ、テクスチャ ー）</p>	<p>共</p> <p>共</p> <p>共</p> <p>共</p> <p>単</p>	<p>第 54 回 日本栄養改善学会 (長崎)</p> <p>第 55 回 日本栄養改善学会 (神奈川)</p> <p>日本薬学会第 129 回 (京 都)</p> <p>第 56 回 日本栄養改善学会 (北海道)</p> <p>第 58 回 日本栄養改善学会 (広島)</p>	<p>2007.9</p> <p>2008.9</p> <p>2009.3</p> <p>2009.9</p> <p>2011.9</p>
<p>研究助成等</p>			
<p>学会及び社会における活動等</p>			
<p>日本栄養士会、日本栄養改善学会、日本栄養食糧学会、日本家政学会、日本調理科学会、 日本健康・栄養システム学会、日本給食経営管理学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市学校給食センター設計業者選定委員会委員長（2008） ・佐賀市学校給食センター調理業務委託業者選定委員会委員長（2009） ・佐賀市学校給食調理等業務委託業者選定委員会委員長（2010） ・佐賀市中部学校給食センター調理等業務委託業者評価委員会委員（2011） ・佐賀市学校給食調理等業務委託業者選定委員会委員長（2011） 			